

しょうきゃくろ み 焼却炉を見てみよう



も 燃えるごみは850℃以上で燃やします。高温で燃やすこ
とで、有害な物質の発生をおさえています。



ごみ投入ホッパから焼却炉に投入されたごみは、給じん
装置で、少しずつ焼却炉内部に送られていきます。



焼却炉には、メンテナンス用の扉や、燃えている状態を監視
できる監視窓なども備わっています。



焼却炉の内部にはストーカと呼ばれる高温に耐えられる
火格子が、階段状に敷き詰められており、ゆっくりと動き
ごみを送っていきます。

